時事新報は全國中紙面の最も廣き新聞紙なり　時事新報には每號詳細なる商況物價の報告あり

時事新報

第三千二百六十三號
明治廿五年二月十二日　金曜日
明治廿五年二月十二日　(甲戌)
日出午前六時三十四分　入午後五時十八分
月出午後四時四十分　入六時二十六分
朔日午前五時十五分　朔日午後五時三十八分
(西暦一千八百九十二年)

時事新報定價
時事新報は每號八面乃至十二面にして詳細の商況物價報告あり其代價郵送料共左の如し
一枚二錢〇一箇月前金五十錢〇三箇月前金一圓五十錢〇六箇月前金三圓〇一箇年前金六圓〇月賦賣休刊
〇時事新報社より直接に郵送スルモノハ右定價ノ外に一箇月十三錢の郵送料ヲ申受ク

時事新報廣告料(箱食)

	一行	一行ニ付	一日限	一日以上六日迄	七日以上
「行五號活字仕切字詰」		十三錢	十一錢	十錢五厘	

本社(寄稿)に付
東京府下を始め各府縣に通信社あるものあり是より各新聞社に報道を發送し各新聞社は之を受けて紙面を賑盛するより各社同一の記事を掲ぐるあと寡から ず獨り時事新報社は社員並に通信員の多きを以て斯類の社に通信を依頼せずと雖も世間往々此事を知らずして通信社にさへ報道すれば本社にも其報道は達する事と信ずる方多きが如し爲めに行違ひを生じたる場合も寡からざれば本社に記事論説を寄稿せんとする方は直接に本社に向け發送あらんことを請ふ

時事新報

輿論の向背

政治社會に運動するものは在朝と在野とに論なく常に輿論の赴く所を察して其方向を定むるの肝要なるは今更ら云ふに及ばざるとなれども扨その輿論とは如何なるものにして如何なる邊より發し如何なる方向に動きつゝあるものなるやは政治家の最も注意す可き所なり單に輿論と云へば國民一般の思想を言論に現はしたるものに外ならざれども實際に於て其國民の多數は智德の度も低く隨て政治の思想にも乏しき輩のみなれば假令ひ銘々に相應の意思希望はあるも此愚論を以て一般の輿論と認むるを得ず眞成の輿論は決して愚の思想に發するものに非ざるなり凡そ何れの國にても社會に重きを成すものは智德財産にも乏しからざる獨立の士人にして此流の人は元來政治のみに關心する者にあらざれば平生の言論も極めて少なりと雖も自から社會の全面を制して隠然政治の上にも其勢力を及ぼす可き即ち國の有識とも稱す可きものにして一般の輿論なるものも其實は此流の士人より發し其人の挙動を標準として動くものと知る可し彼の英國などの例を見るに政治社會に於ては自由黨と云ひ保守黨と云ひ互に政黨を分ち其黨中には名譽高き老政治家もありて互に政權を爭ふの習慣なれども扨て實際に社會の形勢を左右し輿論を作り出して政府の更迭を促すは何人の力なりやと云ふに グラットストーンにも非ず ソルスベリーにも非ずして中等社會の貴族に在るは彼國の事情に通ずる者の能く知る所なり所謂中等の貴族なるものは智德財産に富しからずして社會に重きを成し然ずしも親から政權に關係するに非ざれども國家と名くる一體を維持する爲めに有識の用を爲すものなり左れば單に輿論々々と唱へ愚論の論のみを相手にして却て獨立士人の向背を顧みざるは事の本末を誤りたるものにして我輩の所論を以てすれば我國の政治社會は在朝の人も在野の人も共に此誤を犯したるものと云はざるを得ず今の政府が國中の人望に乏しきは年來施政上の失策に外ならざれども其失策中の大なるものは獨立士人の愛を失ふたるの一條にして我輩の常に遺憾とする所なり萬般の施政都て民意に適す可きに非ず其間に多少の不平あるは當然の數にして改良進歩の政略に止むを得ざる可きは是等の細事情に關心するみなれば當局者は是等の細事情に關心するみなれば當局者は是等の政策を斷行しながら眼を轉して、上流社會を視察し獨立士人の歓心を求めて自然となく勇を鼓して思ふまゝの政策を斷行しながら眼を轉して、上流社會を視察し獨立士人の歓心を求めて自然に同感の情を表せしむるの手段ありしならば政府の不人望も決して今日の如く甚しきに至らざりしみとならん人望も決して今日の如く甚しきに至らざりしみとならんに然るに事の實際に於ては全く其趣を異にし獨り自から政府部内に蟠居して人に交るの法を知らず天下の廣き卓識の士人もあり富豪の紳商も多しと雖も奇も獨立の思想ある者は政府に近つくを好まず政府も亦これを度外視して知らざるものゝ如くし居然自から構へて自得する最中に彼の民權家なと自稱する輩が輿論云々として迫り來るみとあれば其論の元來何の爲めにして何れの邊より發するやをも究めずして唯その聲を聞き民論果して然りと信じて眞正面に之を引受け頻りに防禦の法に忙しくするが如きは假令ひ目下の急に應するが爲め止むを得ざるものとするも固より永久の策に非ず我輩の所見は敵を防ぐよりも友を求るの策を講成するものなり又一方の民黨を見るに其誤は全く政府の誤に異なら ず彼の地租輕減地價修正の論の如き斯民休養は一般の輿論なりとて所謂衆愚論に媚を餌して以て大に一般の愛顧を博せんとするの心算に外ならざれども之が爲めに上流士人の愛を失ふて自から其勢力を損するを知らざるは抑も亦愚なりと云ふ可し前議會の如き若しも民黨の聯合するがまゝに從ひなば政府は輿論の希望に反したる處置を行ふたるものにして其反動は容易ならざる筈なりしに國會解散して其譴の中止したるみを幸なれ或は聞く各地方にては今日も尚ほ地租地價の事を論じて爭ふ者あるよし驚入たる次第なれど も要するに政黨關係の輩が一時の方便計略の爲めに喋々くするのみにして一般の人心は甚だ冷淡なりと云ふ羞し獨立憂國の識者は固より政府年來の處置を悦ばずして遺憾なく之を排擊すれども左ればとて民黨の輕卒粗暴論には決して服するを得ず獨立の論者にして既に動かすかとあれば一般の人心は何を標準として動く可きや世間當今の物議は顧みるに足らざるなり前曾果して事實に相違なしとすれば眞實の輿論なるものは獨立士人の口に發し其挙動を標準として動くものなるを解するに難からざる可し昨今挙國の競爭に際し政府も民黨も必死と爲りて相戰ひ只管多數を制せんとするの外に餘念なきが如しと雖も假令ひ多數を制したりとて衆愚の多數は銭ひに足らず最後の勝敗は國の有識なる獨立士人の向背に在るものと覺悟して互に共挙動を慎しむ可きものなり

雜報

○當座貸越の擔保品と質權　東京銀行集會所にては今度當座取引井に手形類に關する書式を一定する爲め調査する所あり來る十五日の同盟銀行定式會に之が議案を提出する都合なるが其書式類のうち當座預金借越約定書案を定むるに就て商法の條文と商取引の慣習と相合はざるの廉あるに因うせり即ち其當座借越と云へは銀行に當座預金を爲し居れる者が其預金高以上の入用ありて一時過分に引出さんとし預金以外の小切手を振出すみとあり之を當座借越と稱し其借越金の引當には兼て擔保品を其銀行に差入れ置くものなれば若しも其預金主が其借越金を返辨せざるとある場合には銀行は其擔保品を處分して差引勘定を付くるものなるに由り當座借越の擔保品は銀行に於て實際之が質權を所有し先取權を行ひ得るの形あるものなれども商法第三百八十四條には「質權は將來の債權の爲め豫め之を設定するみとを得ず」との文明あるに由り豫め取り置ける擔保品の如き者は質權を設定すると能はずして銀行は其擔保品に對し先取權を有するみと能はず既て當座貸越の不確實を見るみとなるべし、此疑問は從來銀行者間に起りたるものにて曾て法律取調委員に質す所ありしに銀行は擔保品に對して留置權を有するが故に若し其貸金延滯するみとあらば銀行は訴を起さずして裁判所に申出でたる上其擔保品を賣却し得べければ商法の條文決して妨げとはならざるべしとの說あり之に就ては理々法律家の間に議論ありて纏まる所なく現に今度右等書式を銀行集會所顧問岡村輝彦氏に示したる際にも同氏は商法の條文今の儘にては擔保品に對して先取權を有するみと能はざるべしとの意見を申述りたる由去れど同集會所の委員は實際の慣習は商法にても重んずる所にもあり且つは商法の條文とても寧ろ商業の便となる樣改正せらるべきみとは勿論なるが故に兎に角擔保品は安全に先取權ありと見做して其借越約定書も定むるに若かずとのみとに評決したりとなり

○租稅免除の歎願　岐阜縣下の震災被害人民は其當時救濟の爲め其筋に租稅免除の歎願を爲したるも今に何等の沙汰なく昨今租稅上納期に際し當縣官吏は將に徵收に着手せんとして其旨を達したるも被害人民に於ては昨今非常に困難の境遇に陷り上納の資力なければ此際騒に発租の恩命あるか左なくば次席の帝國議會開會迄徵收延期の儲を去る九日同縣下十九郡總代中嶋郡濃邊乙馬氏外數十名より其筋に歎願に及びたりと云ふ

○日本鐵道會社の青森線　は去る三十日以來野邊地近傍積雪の爲め列車は上野より沼崎までにて止まり青森へは通せざりしが其積雪と云ふは野邊地停車場の前後二三哩の處にして雪の厚さ數尺に達し雪除汽關車又は人夫を以て雪搔きに盡力するも何分寒氣計は五十六度より二十四度位迄に上降して氣候の變化甚だしき爲め雪搔には頗る困難なれども昨今天氣晴や一定して雪量も大に減せしかば此先き青森まで汽車の通ずるは餘り遠からざるべしとなり

○長野縣下製絲家總會　長野縣各郡の製絲家總代四十餘名は去る六日小縣郡上田町なる商業事務所内に總會を開き左の各項を議決したりと云ふ

一生絲、蚕物、蔟等に係る貨物の鐵道運賃割を一級に引下げんことを其筋に請願する事

二横濱生絲關係者一同に委嘱し海外各日本領事館生絲相場狀況通告の度を增加するみとを政府に請願する事

○名古屋支廟開廟の儀　東本願寺は今大集會を開く事に暮し名古屋支廟を開き開廟する事に定めたりと云ふ

○慈善踊舞會　赤十字社の慈善踊舞會は去る十二月松方、稲本、十善踊舞會を開き其收益をもとして一千五百餘圓なりとして一千五百餘圓たるよしに付來る二月内山下町帝國ホテルに於て開會するよし

○軍馬購買　三本木は來る三月二十日を出張し軍馬を購買するよし

○喇叭長の入閣　陸軍は喇叭譜が多少づゝ人づゝを召集して教習せしめ總て其請願は聞れも來る十五日

○共立學校の定期試驗　共立學校にては第一定期試驗十七日には生徒一同に授與するよし

○座して大利を博す　は大概六圓二三十錢揃みの七圓七八十錢揃みの一圓四五十を見る此一圓四五十は大阪より運搬入費及格違等の純益あり偖りに大千石計りを奥州に送りたるみとあり忽ち三百圓の利益を儲けは既に莫大なるに由り同地の米を買ひながら同地の米の價を引下げの費分をも省き得ふ左れば現今同地の一二の手口は目下の相場を知るべからざれば遠方の米價と東京の米の流言のみとて之が如しと或る米商

○横濱絲況　は昨今休業の向もありし滿當品は相場ら寸居たりと

○神奈川縣廳の移轉　を以て神奈川縣廳は式を挙行したり又の美濃丸等は午前云ふ

○銀行實務誌　文國立銀行に入りて習し異に歐洲に至る所あり し趣味て其實驗したる所は物見ら夢とて今